

法学部学術講演会

「トクヴィルのアメリカと今のアメリカ」

日時： 2011年11月29日(火)14:40-16:10

場所： 第一学舎5号館 E602

講師： 松本 礼二 早稲田大学教授

概要：

トクヴィルは1830年代に新興民主主義国アメリカを旅し『アメリカのデモクラシー』を著した。アメリカは新時代の先駆的役割を担うと同時に、その先に経済と世論の腐敗した混乱の時代が待ち受けていると予言し、「多数派世論による専制政治」としての民主主義で、世論を構築するのは新聞であると指摘するなど、本書は今もなおアメリカならびに民主主義を学ぶ際に不可欠な存在である。

本講演では、『アメリカのデモクラシー』（岩波文庫）を単独で完訳し、日本でトクヴィルに最も造詣が深い松本教授をお招きし、トクヴィルの見たアメリカを起点に今日のアメリカを分析し、アメリカの現状を相対的、批判的に考察していただく。

事前の申し込みは不要

お問い合わせ先： 法文オフィス(06-6368-1146)

(背景は*Democracy in America* (Penguin Classics)より)